

(様式3)

自己評価結果票 (南ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>当施設の方針にも家族との交流のみならず、地域との交流も積極的に取り入れると掲げている。散歩等で地域の方達とも馴染みの関係ができ温かく受け入れていただいている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎朝朝礼時に運営理念と唱和し、それに基づいたサービスの提供を心掛けている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営理念を明文化、提示し、家族の方には行事や面会等で説明している。又、運営推進委員等で地域代表の方々にも理解して頂いている。</p>	
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩は日課としているので、近隣の方々に声をかけて頂いたり、又お店等も温かく受け入れて頂いているが、まだグループホームには来て頂いていない。</p>	<p>現時点では、まだ近所の方々に気軽に立ち寄って頂ける様にはなっていない。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>まだ自治会・老人会等には参加出来ていないが、地区や小学校の運動会、地区のお祭り等にも招待して頂き参加している。</p>	<p>地区の代表の方にお問い合わせしているが、今のところ地区の老人会等には参加して頂いていない。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	業務以外に地域の高齢者が参加される行事に定期的にお手伝いしたり、独居老人宅に配る弁当作りに参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	自己サービス評価に基づきチェックしている。		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヵ月に1回開催しており、第三者評価の状況、説明等を行っている。又、会議の度サービスの状況を説明しており、意見交換を行っている。		
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	昨年の6月より地域ケア会議に出席している。又、市町担当者の方にお互い相談している。		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	勉強会等で説明し、ユニット会議等で話し合う機会を持っている。南ユニットでは該当者はおられないが北ユニットでは1名おられる。		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	勉強会で機会を持っている。グループホーム内でも注意を払っており、今の所無いと思っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	極力異動機会は少なくしている。他事業との関連で止むを得ない範囲で考えている。		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	OJTを重点に置き、園内外研修の精度を上げる教育マニュアルを推進している。		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	運営者・管理者間のネットワーク作りを推進している。		研修で地域のグループホーム職員が合同で定期的に勉強会を開いている報告が有り、参考になった。当地域でもその可能性を企てたい。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	懇親会等の実施		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	資格の再評価、計画的、継続的な勉強会の実施		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>まずご家族にご本人の状態や意見、困っておられる事、不安に思われている事をお聞きしている。その上で、ご主人・ご家族・職員でお話を伺い、グループホームで生活される上での不安な事やご意見等、納得して頂ける様努力している。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所申し込みの際や入居の面接の際にお聞きし、ご意向に沿ったケアプランを立て、不安に思われている事などをお聞きし、納得して頂いている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>まず担当のケアマネージャーに情報を聞き、ご家族・ご本人と面会を行い見極め、又他のサービスの利用等も勧めている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前にご家族・ご本人の意向を聞き、1ヵ月間のケアプランを作成して説明し、納得して頂いた上で様子を見ながらサービスを行い、又1ヶ月後にケアプランの見直しを行っている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>敬う気持ちを忘れずに、人生の先輩として学んだり、喜びや悲しみを共にしている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	利用者の方の報告は密に行っている。又問題が発生すると、ご家族と相談し、ご協力も快くして頂いている。		
29	利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時はご家族も受け入れられなかった利用者の方が、現在では、長女様宅で生活され在宅に戻られた。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の方等定期的に面会に来られたり、一緒に外出されたりしておられる。又職員と一緒に自宅の様子を見に行っている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の方々それぞれにいい関係が出来ており、認知症の進んだ方に対しても理解しておられる。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	当グループホームでは該当者はおられない。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の方が希望される事は出来る限り沿う様にしている。困難な場合は納得して頂ける迄お話ししている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に生活歴等書面にて記載して頂いたり、ご家族に口頭でもお尋ねし、グループホームでの生活に反映させている。又カルテにも綴じている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>お一人お一人、その日の状態等を見ながら、その方のペースに合わせて外出、家事全般等をして頂いている。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>見直しごとにご家族や利用者の方、職員の意見参考にしている。(ユニット会議やケアプランの総括、利用者の方の意見、面会、電話等)</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現在ではまだその様な事はないが、発生した場合はその様にして行きたい。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子はカルテ、日誌に記録し、又連絡事項は連絡帳に日々記載し共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	お一人お一人のその日の状況や状態を見ながら支援し、又ご家族の状況も理解し支援している。		
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	小学校の学習の一環として来られたり、又避難場所にも協力して頂いている。又消防署は避難訓練や救命講習又ボランティア、警察も暖かく協力して頂いている。		運営推進委員会にて地区代表の方々の協力もあり、民生委員の方にも会議に参加して頂ける様、今準備中である。
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ケアマネジャーの方に必要に応じ相談にのって頂いている。又地域の他の事業者の方とも連絡取り相談したりしている。		
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは協議し、地域の状況等定期的に聞いたりしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に主治医等お聞きし、又ご家族納得の上グループホームの主治医にも受診して頂いている。特にグループホームの主治医には理解して頂き、時間外でも対応あいて頂いている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	グループホーム全体としては相談したり、診断や治療を受けているが南ユニットではが該当者はおられない。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	主治医の看護師の方等に相談し、受診の有無や健康管理を行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院された時はサマリーを渡し情報提供している。又連絡も取り、退院日等ご家族と相談を行っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	南ユニットでは該当者は現段階ではおられないが、北ユニットでは今、該当する方がおられる。今後もご家族の意思を尊重し協力し合い、主治医、職員等と相談しながら取り組んでいきたい。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族の協力を得なければ特にターミナルは成り立たない。又医療的にも医師の協力なしでは出来ないなので、協力を得ながら検討して行きたい。		今後の大きな課題だと思っている。ご家族、主治医、職員が連携し、満足して頂ける終末を迎えて頂きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の方の能力に応じ手伝って頂いている。又誕生日などお好みのメニューをお聞きし取り入れている。		
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	たばこやお酒を飲む方はおられない。おやつ等は買物に行かれた利用者の方に選んで頂いている。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	その方の必要に応じたトイレの声掛け行ったり、入居されてから紙パンツから布パンツになられた方が3名おられる。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の方全て夕食前に入浴を希望されるので、その様にしている。時間帯も一人お一人納得して入浴して頂いている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お一人お一人がご自分のペースにて決められ昼寝や休息をされている。又ご自分で調整出来ない方には状況により声かけ行い昼寝や休息して頂いている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	定期的にドライブ、外食、喫茶、買物等に出掛けたり、お一人お一人の得意とされている事を頼んでして頂いている。又散歩や歌は日課とし、畑仕事や草取り等もして頂いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的にはお金はお預かりしている。利用者の中には2人ご自分で所持しておられ、お菓子等購入される際に支払われている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>声かけにて散歩は日課にしており、食材の買物も毎日出掛けている。又草取り、畑仕事等も手伝って頂いている。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>利用者の希望にて自宅に職員と一緒に帰って頂いたり、要望により外食や喫茶等ドライブを兼ねて出掛けている。</p>		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者の方から要望があれば電話して頂いているが、声かけ行っても職員にかける様に言われる。又手紙も郵便局まで行き投函して頂いている。</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>いつでも来て頂ける様、時間も制限していない。居室にて過ごされたり、リビングにて他の利用者の方と一緒に談笑されたりしておられる。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>週に一度の勉強会や書面を渡したり、折を見て伝えている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	リビング、居室は特に施錠していないが、玄関は施錠している。田舎とは言えぶっそうな時代なので、利用者の方が出たいと言われたらその都度開錠し、出掛けて頂いている。		
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間は利用者の方の状態によって30分から一時間間隔にて巡室行い、又門、中庭、北ベランダにセンサーを設置している。日中は必ず所在確認し、その方の状態に合った見守りを配慮している。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	お一人お一人の状態に応じ、保管させて頂いている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	お一人お一人に合った歩行介助、薬の管理、行方不明時に対応する写真入りで特徴を明記した物や、年に2回避難訓練を行っている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に救命講習受講したり、急変時対応の本等職員室に置いている。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方の協力により、近くの小学校、公民館等避難出来る様にして頂いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	ご家族には説明し、対応策等納得して頂き協力も して頂いている。又要望も訴えられた時はお聞き し、出来る事、出来ない事納得して頂ける様説明 行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気づいた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	利用者の方の表情等観察し、異変に気付いたら情 報共有し、リーダーの指示を仰ぐ。又急変時の為 の救命講習も受講している。		
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解しており、 服薬の支援と症状の変化の確認に努めてい る	処方箋やピルブックにて理解しており、服薬は必 ず手渡し服薬確認するまで側を離れない様にし ている。		
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防 と対応のための飲食物の工夫や身体を動か す働きかけ等に取り組んでいる	毎朝バナナ1 / 2本とカスピ海ヨーグルトを摂取 して頂き、牛乳、繊維質の野菜を食べて頂いて いる。又散歩、家事全般、日常生活の中で適度な運 動をして頂いている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じ た支援をしている	朝食、就寝前は必ず口腔ケアして頂いており、昼 食後は歯磨きをしっかりされる方や嗽のみの方も おられる。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分摂取量を決め、水分チェック表に記載 している。食事も声かけにて一定の量摂取して頂 いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは毎年、利用者、職員共に接種し、疥癬等取り決めがあり、マニュアルも作っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の買物は毎日行い、野菜等全て湯通し行っている。又布巾、まな板、包丁は毎回、又夜間に三角コーナー、流し台、食器類、食器洗い用スポンジ等ハイター消毒行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲には利用者の方と花を植えたりしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング、廊下のサッシにはロールカーテンを設置しており光等調節行っている。又生花は殆ど必ず飾っており、お正月、ひな祭り、七夕、クリスマス等には装飾行っている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの畳には、冬はコタツ、夏はテーブルを置き、又ソファも設置している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お一人お一人の身体機能に応じた居室作りを利用者、ご家族の方と相談し自宅から持って来て頂いたり、購入して頂いている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度、湿度計にてこまめにチェックし、利用者の方に合った温度調節を行っている。又換気もこまめに行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや廊下等は手すりがあるが、脱衣場の手すりが浴室の入り口のみのため、しっかりした手すりの取り付けを現在検討中である。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室には手作りの表札をつけ、トイレ、浴室にも理解出来る様に明記している。又月日、曜日等も毎日分かる様にしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外周りには畑や花を作ったり、ベンチやパラソルを置きゆったりと談笑されたり、お茶を飲んだりして頂いている。平屋建てでベランダはない。		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目 (南ユニット)		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない</p> <p>その日のお一人お一人の状態を見ながら、ご意向に沿って誠意を持ってケアにあたっている。又外出を好まれるので日々の買物、散歩以外に外食、ドライブ等定期的に行っている。</p>
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>10時、15時のコーヒータイムや食後等利用者の方と談笑したり、あまりご自分からお話しをされない方に対してはマンツーマン対応にて定期的に思いをお聞きしている。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>お一人お一人の出来る事、出来ない事やその方のペースを把握しケアにあたっている。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>職員と関わりを持って頂き、出来た事に対し一緒に喜ぶ事で自信も持たれ、笑顔も見られ生き生きとした表情をされる。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>日常生活に必要な事、例えばカット、郵便局、買物等要望があれば一緒に出掛け、なるべくストレスがたまらない様に心掛けている。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>主治医やご家族と連携を図り、異常があれば夜間を問わず相談している。又バイタルチェックも行い、何か訴えがある時は相談に乗り、必要に応じ受診している。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>その時々状況に応じ職員は誠意を持って対応出来ていると思う。又帰宅願望のある方にはマンツーマンにて傾聴し、その時々要望にも対応している。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない</p> <p>ご家族とは利用者の方の状況等、密に連絡を取っている。又ご家族や利用者の方が不安に思っておられる事など安心して頂ける様お話ししたり、協力もして頂いている。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>毎年小学校の児童が来て下さったり、秋祭りの子供だんじりも立ち寄って頂いている。又地区の運動会や夏祭り等も声を掛けて頂き、参加させて頂いている。</p>

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	地区代表の方を媒介として、地区の方に協力して頂き理解者も増えてきている。又今現在、運営推進委員会に民生委員の方にも参加して頂ける様に交渉中である。
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	全ての職員が誠意を持って利用者の方と接しており、信頼関係も築けている。外出計画や室内の過ごし方等も積極的に考えたりと意欲的に働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	在宅では制約されていた事がグループホームではして頂けるので満足しておられると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	紙パンツから布パンツになられた方が3名、又ご家族との関係がうまく行っておられなかった方が現在では在宅になられたり、在宅では落ち着かれなかった方が穏やかに生活されておられる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご利用者お一人お一人の生活暦を重視し、その方らしく生活して頂けるよう援助を行っている。

家族との連携も密に行い、情報を共有している。

今後は地域の中のグループホームであり、また同一法人に老健を有する事の強みを生かし、地域住民の方に介護に関する相談をして頂ける関係作りを推し進めていきたい。